

■実施概要

【期 間】2021年8月16日～9月3日（15日間）

【受 講 者】本学3～4年生10名

（工学部：3年生6名・4年生1名、経営経済学部：3年生1名・4年生2名）

【授 業】短期集中語学研修の科目内で Burton and South Derbyshire College（以下バートン・カレッジ）（イギリス）が実施するオンライン授業を実施。

【目 的】バートン・カレッジの短期集中語学研修（オンライン授業）により、グローバル人材の育成を目的としている。現地とのオンライン授業、現地との異文化体験を通じて多様性について学ぶことで、本学のディプロマポリシーでもある「課題解決において多角的かつ柔軟な思考力をもち、新しい仕組みや分野の創造にも前向きに取り組みチャレンジする」という能力の向上を目指す。

また、授業の中で英語の4技能（リスニング、スピーキング、ライティング、リーディング）の育成を行う。

【授業テーマ・内容】

講義回	テーマ	内容
1	コース導入	自己紹介、英国文化について学ぶ
2	伝統的な英国料理	イギリスの食事を通して語彙と構造を学ぶ
3	テレビ、映画、ビデオ	ソーシャルメディアに関連した語彙を学ぶ
4	外食	イギリスの外食に関連する語彙や、注文する際の会話を学ぶ
5	ロンドン	ロンドンのランドマークを通して観光に関する語彙を学ぶ
6	ニュースと時事	テレビ・ラジオから情報を抽出できるようにする
7	天気	天気を通して英語で未来形の形成と使用方法について学ぶ
8	スポーツ	天気を通して英語で未来形の形成と使用方法について学ぶ
9	社会規範	社会規範が国ごとにどのように異なるのか調べる
10	教育システム	イギリスでの学校や大学生活について学ぶ
11	仕事の為のスキル	仕事における実践的なスキルや履歴書について学ぶ
12	歴史	歴史に関するスピーチを行い過去形と英語の発音を学ぶ
13	観光	観光地について学び、グループ内でセッションを行う
14	著名人	著名人についての説明を行い、スピーキング能力を高める
15	復習	15回の中で興味のあるテーマを復習し、学習をふり返る

上記、テーマにて、会話・発表・グループワークなどを交えた授業が行われた。

【その他】

- ・各グループにはバディー（現地学生）のサポートがあり、グループワークの練習や会話等についてのフォローが行われた。
- ・本学のネイティブ教員がオンライン授業にオブザーバーとして参加。授業内容等に関する質問体制を整えた。
- ・授業後、ホストファミリーとのミーティングでは、事前に準備してきたテーマ（自己紹介・趣味・ペット・食べ物・ホームタウンなど）についての会話を通して、交流を行った。

【評価基準】

1. KITE (※i) を含む「バートン・カレッジ評価」

(2019 年度は CEFR (※ii) を基準に「英語力レベルチェックテスト」の結果を評価していたが、詳細な伸び率を計測するために、2020 年度より CEFR とも比較可能な KITE を採用。)

2. 受講前後に実施する本学独自の「パフォーマンステスト」

(本授業で向上が期待されている実践的な英語力「リスニング」、「コミュニケーション力」を多面的に評価するための本学独自のテスト。)

【本学独自の「パフォーマンステスト」評価基準】

「リスニング」評価基準

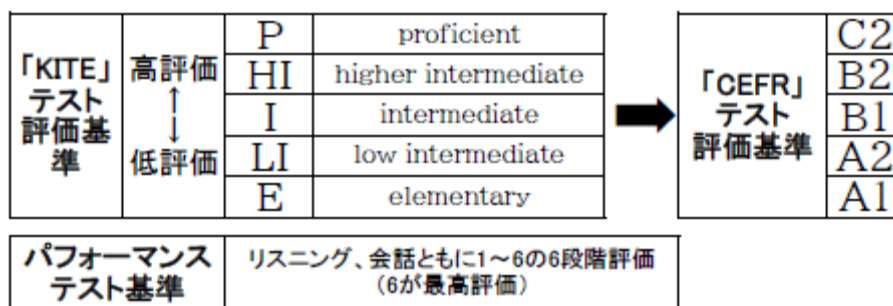
1	2	3
はっきりと標準的な英語で話されていれば 問題カードのイラストについてためらいがあるが5つの質問の中から1つを理解することができる。	はっきりと標準的な英語で話されていれば 問題カードのイラストについてためらうことなく5つの質問の中から1つを理解することができる。	はっきりと標準的な英語で話されていれば 問題カードのイラストについてためらうことなく5つの質問の中から2つを理解することができる。
4	5	6
はっきりと標準的な英語で話されていれば 問題カードのイラストについて5つの質問の中から3つを理解することができる。	はっきりと標準的な英語で話されていれば 問題カードのイラストについて5つの質問の中から4つを理解することができる。	はっきりと標準的な英語で話されていれば 問題カードのイラストについて5つの質問の中から5つを理解することができる。

「コミュニケーション」評価基準

1	2	3
日常生活のなじみのあるトピックであれば自分自身や問題カードのイラストについて 基本的な単語を使って伝えることができる。	日常生活のなじみのあるトピックであれば自分自身や問題カードのイラストについて 単語、フレーズレベルで伝えることができる。	日常生活のなじみのあるトピックであれば自分自身や問題カードのイラストについて 主語・動詞のある単文を使って伝えることができる。
4	5	6
日常生活のなじみのあるトピックであれば自分自身や問題カードのイラストについて 自然なタイミングで回答し、簡単な質疑応答ができる。	日常生活のなじみのあるトピックであれば自分自身や問題カードのイラストについて 自然なタイミングと速さで回答し、やり取りができる	日常生活のなじみのあるトピックであれば自分自身や問題カードのイラストについて 様々な語や表現を用いて自然なやり取りができる

■バートン・カレッジ評価及び本学独自の「パフォーマンステスト」評価結果

名前	バートン・カレッジ評価				パフォーマンステスト					
	「KITE」テスト			総合評価	リスニング			コミュニケーション		
	受講前	受講後			受講前	受講後		受講前	受講後	
学生 A	I	I		A	5	5		3	3	
学生 B	I	I		A	4	5	↑	2	3	↑
学生 C	HI	HI		A	6	6		3	5	↑
学生 D	I	HI	↑	A	5	5		4	6	↑
学生 E	LI	LI		B	4	5	↑	2	2	
学生 F	I	I		B	5	6	↑	3	4	↑
学生 G	HI	HI		A+	6	6		5	6	↑
学生 H	LI	I	↑	A	6	6		3	4	↑
学生 I	LI	LI		A	4	4		3	3	
学生 J	LI	HI	↑	B	5	6	↑	4	5	↑

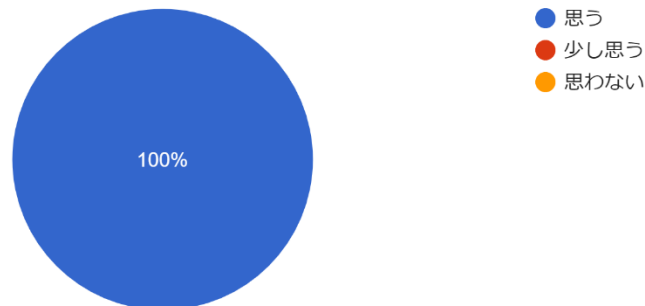


- ・バートン・カレッジの評価では 10 名中 3 名に KITE テスト結果の向上が見られた。
- ・パフォーマンステストでは、参加した学生のうち 4 名がリスニングの能力が向上し、7 名がコミュニケーションの能力が向上した。

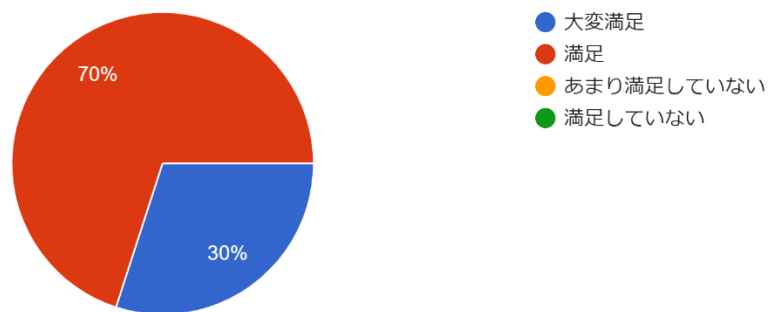
■受講学生アンケート

参加学生に対して、オンライン授業や本学独自テスト等のプログラム全般に対して、受講後にアンケートを実施した。結果は以下のとおり。

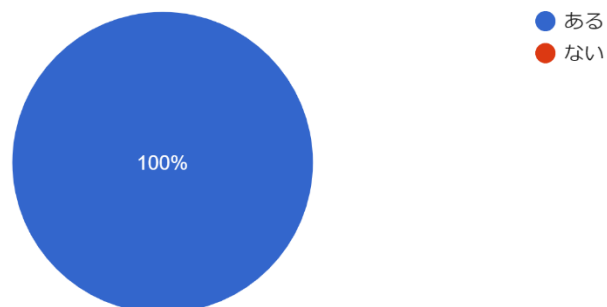
①語学研修に行って良かったと思いますか。



②オンライン・ライブ語学課程での学修内容について満足していますか。



③今回のオンライン授業がキッカケとなり、今後もっと英語を学ぶ予定はありますか。



・参加者全員が今回のオンライン授業に参加して良かったと答えており、70%の学生が学修内容について満足していると答え、30%の学生が大変満足していると答えた。また、参加者全員が今後、英語を学ぶ予定があると答えた。

■まとめ

- ・バートン・カレッジの評価では、10名中3名に KITE テスト結果の向上が見られた。
- ・パフォーマンステストでは、参加した学生のうち4名がリスニングの能力が向上し、7名がコミュニケーションの能力が向上した。
- ・参加者全員が今回のオンライン授業に参加してよかったと答えており、70%の学生が学修内容について満足していると答え、30%の学生が大変満足していると答えた。また、参加者全員が今後、英語を学ぶ予定があると答えた。

以上のことから、本バートン・カレッジ オンライン授業の受講により、対象科目「短期語学研修」において求める「リスニング力」、「コミュニケーション力」の向上とともに、英語を学びたいという意欲向上にもつながった。

-
- i 適応型レベル測定テストと呼ばれるもので、回答者の回答をもとに質問の難易度を調節し、回答の正確性や回答スピードなどをもとにその人の強みと弱みを正確に測定することができる。テストでは、リスニング力、リーディング力、文法の3点を測定する。

《参考文献》

- ・Kaplan International 「英語レベル測定テスト」

<https://www.kaplaninternational.com/jp/free-english-test-online>

- ii ヨーロッパ全体で外国語の学習者の習得状況を示す際に用いられるガイドライン。